

## 1 基本理念

県では、がん対策推進条例の趣旨をふまえ、基本理念を設定。  
全体目標のめざす姿であり、基本的な理念は変わらないことから、第3期計画の内容を引き継ぐ。

『がんにならない、がんになっても安心できる奈良県』

## 2 全体目標

基本理念の実現に向けて、第3期計画同様、患者のあるべき姿を全体目標として掲げ、令和6年度から令和11年度までの6年間の取組を進める。  
また、県民に分かりやすく対策の評価・進捗状況を提示するため、すべての全体目標に指標を設定する。

1. 県民ががんにならない、がんで亡くならない（がんで亡くならない県、日本一）
2. すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる
3. すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

### 3 全体目標の指標（案）

#### 1. 県民ががんにならない、がんで亡くならない（がんで亡くならない県、日本一）

●指標【出典：人口動態統計】 ※数値目標の設定については次頁参照

・がんの75歳未満年齢調整死亡率 <目標値：52.8>

<現状値> 62.4（令和3年）

#### 2. すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる

●指標【出典：ならのがんに関する患者意識調査】

・これまで受けた治療に納得していると回答のあった患者の割合 <目標値：増加>

<現状値> 88.0%（令和3年度調査）

#### 3. すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

●指標【出典：ならのがんに関する患者意識調査】

・現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合 <目標値：増加>

<参考値> 【出典：患者体験調査】 70.5%（平成30年度調査）

※現在、ならのがんに関する患者意識調査の調査項目にないため、厚生労働省にて実施している患者体験調査を全国値であるが参考値とする。

## <参考> 第4期奈良県がん対策推進計画の死亡率の目標設定の考え方

がんの75歳未満年齢調整死亡率は、最も低い長野県と比較すると2015年は10.3ポイント差、2021年は5.1ポイント差となり差が短縮している。

第3期計画では、「**がんで亡くならない県、日本一**」をめざし、12年後の2027年を最終目標として設定して、2021年の奈良県の予測値は64.2、中間目標値は61.3としていた。2021年の実測値は、62.4であり、予測値を上回る結果となったが、中間目標値は達成していない。

2016年～2021年までのデータを反映した予測値を再計算をすると、2027年の長野県の予測値は53.4、奈良県の予測値は54.7であり。1.3ポイント差となる。

現行計画の目標値は、52.8であるため、引き続き「**がんで亡くならない県、日本一**」をめざし、目標を変更せずモニタリング評価を行う。

